キュッパになって探検しよう！

東京都美術館学芸員 稲庭彩和子

日比野克彦『ｂｉｇｄａｔａｎａ―たなはもののすみか』

夏休みは「ミュージアム・デビュー」にぴったりの季節だ。上野では、今年も高校生以下の子供たちのミュージアム・デビューを応援するプロジェクト「ミュージアム・スタート　あいうえの」が開催されている。

夏休みプログラムでは「キュッパ部」と題されたプログラムに、予想以上の500組を超える親子から応募があった。

最近は夏休みの課題に美術館訪問を設定している小中学校もあり、夏休みはいつより多くの子供たちが訪れる。美術館は大人だけの場所という既存のイメージは少しずつ変化していくだろうか。

収集が大好きな丸太の男の子キュッパ

キュッパ部は1日の単発プログラムだ。まず東京都美術館で開催中の「キュッパのびじゅつかん」展に、学芸員やアート・コミュニケータと出掛けていく。アート・コミュニケータは一般から募集して、3年間様々な研修と実践を積み、学芸員とチームを組んでいる大人たち。プログラム中は説明役ではなく。子供たちと一緒に作品を楽しむ伴走役となる。

展覧会はノルウェーの絵本『キュッパのはくぶつかん』（オーシル・カンスタ・ヨンセン作、福音館書店）の映像を見ることから始まる。物語のあらすじはこんなふうだ。キュッパは森へ散歩に行き、物を集めてくるのが大好きな丸太の男の子。床の上に拾ってきた物を全部並べて、ついには部屋がいっぱいになってしまう。困ったキュッパはおばあちゃんに相談し、森で初めての博物館を造ることに……。

映像を見た後は実際の展示室へ。最初の部屋は「キュッパの部屋へようこそ」と題され、ものを集めることに魅せられた大人たちのコレクションや、アーティストの作品が並ぶ。例えば日本全国356カ所の土を採取し、瓶に入れ並べた作品『ソイル・ライブラリー／ＪＡＰＡＮ』（栗田宏一・作）は、その色のグラデーションに誰もが見入ってしまう。

大阪市の指定文化財で東京での展示が初めてとなる江戸時代の文人・木村兼葭堂（けんか）の貝石標本は小さく仕切られた升目に貝や石がずらりと美しく並び、見つめていると数百年の時を超えて木村兼葭堂とその当時の人々の交流が伝わってくるようだ。

その他、キノコやタイル、郷土玩具など、全国六つの博物館・美術館から借用しているコレクションが紹介されている。

自分の感覚の肯定感を養う

次の展示室には、キュッパのようになってみることが出来る『ｂｉｇｄａｔａｎａ―たなはものすみか』（日比野克彦・作）と題された作品が、広い吹き抜けの展示室に設置されている。

幅12メートル、高さ8メートルの総檜の巨大な棚、そしてその前の空間には千種類以上の様々な物が並び、来場者はそこで物を選び集め、自分で分類を考え、箱の中に美しく並べ、ラベルに分類のタイトルと解説を書き、最後に大きな棚に展示する。

つまり、キュッパみたいに物を見つめ、集め、並べてと実際にやってみることが出来るのだ。ここでキュッパ部参加者は思い思いに箱を作ること約30分。

絵本『キュッパのはくぶつかん』

展覧会ではこの作品の他にも参加型の作品が展示されているが、共通しているのは、来場者は作品に参加することで「自分はこんなふうに感じているんだ」と自分の感覚を肯定的に認識する機会となることだ。

例えば、千種類の物を見定めながら、色や形、イメージを捉えて分類して作る標本箱は、その人らしい箱がそれぞれ出来上がり、その人の感性と分類への理解が可視化される。標本箱を作ることを通して「自分の直感や考え方を再発見」するような時間を経て、午前中はあっという間に過ぎていく。

心の針を動かして

ランチタイムを挟んで、午後からは西洋美術館や東京国立博物館などの常設展などに出掛ける。

午前中の活動で「物を観察して考えること」のエンジンがかかっている状態で展示室に行くため、子供たちは予想以上に作品鑑賞に集中していく。午後は一人で展示を見る時間と、アート・コミュニケータや他の参加者とコミュニケーションをとりながら一緒に見る時間が両方あり、午後2時に終了だ。

キュッパのように物を見つめて自分が捉えたことにワクワクし、自分で意味を構築していくには、まずは「よく観察すること」と「実際に手を動かして作ったり、誰かに話したりしてみること」が大切だ。

観察に慣れてくると、通常の見るだけの展示であっても作品の横に示された美術史的背景などの説明書きから読むのではなく、自分の目で捉え、観察し、誰かと意見を交わし、心の針を動かせるようになる。そう考えてみると「ミュージアム・スタートあいうえの」で行っているプログラムに共通している学びのあり方は「キュッパ的アプローチ」とも言えるのかもしれない。

◇

▽「キュッパのびじゅつかん―みつめて、あつめて、しらべて、ならべて」展は10月4日（日）まで東京都美術館で開催中（入場料は高校生まで無料）。文中の標本箱作りなどは、いつでも参加可。今後のイベントはアーティストの岩田とも子さんとキュッパのようになる「キュッパるｗｉｔｈ アーティスト」を9月19日（土）午前10時～午後2時。無料、抽選。